



市ヶ谷だより

法政大学
市ヶ谷キャンパス
教職課程センター
2022年5月号(4/15発行)

『成功への近道なんていうものは「ない」と思いますね。まず冒険は「行ける環境」を作ることから難しい。』

今回の皆さんへの上記のエールは、日本の代表的登山家・野口健さんの言葉です。春学期の授業開始のこの時期こそ、教員採用試験突破へ向けて大事な瞬間です。「今やれることを、効率的に、そして前向きに」取組んでいきましょう。大切なことは、不安になって焦らないことです。自らの歩みを振り返ってみましょう。10月の第1ターム講座から地道にそして確実に取組んできました。大丈夫です。第3タームでは今までの成果にあと少し積み上げる意識で取組み、着実に教員採用試験へ向けて知識と対応力を高めていきましょう。



対策講座以外に活用できる方法があります。例えば「論作文対策」と「個人面接対策」ならば個人相談枠（基本は50分間）を活用して論作文の添削を実施し、同じ相談枠内で個別のプチ面接練習を受けることができます。論作文は現在の自分の論作文を書く現状を把握し、改善すべき内容と次回の添削へ向けた課題等を明確にして取組むことが論作文合格への確かな道です。是非、有効活用を。また、個別のプチ面接練習では毎回違う質問内容について取組み、受験生一人ひとりに合った回答を作り上げていきます。面接本番で「本県採用試験の志望理由は」と問われ、「研修制度が充実している」や「都会である一方、自然が豊かである」と答えるのではいかにも残念ですね。あなたオリジナルの志望理由を考えましょう。さて今月も、教員採用試験に合格した先輩からのアドバイスを紹介します。

「心構え」 Sくん (昨年度、千葉県に合格)

「教員になるという強い意志を持って欲しいです。周りの友人は早くに就職が決まり遊んでいます。さらに教員の枠は狭き門です。その中でも勉強していかなければなりません。私が強い意志を持って採用試験を乗り越えることが出来たのは、2つあります。1つ目は、なりたい教員像があったからです。教員になったらやりたいこと、生徒に何を伝えたいのか、何を考えさせたいのか、想像してみるといいと思います。教員を目指す方なら、あると思います。想像してみるとわくわくしてきませんか。そのわくわくが乗り越える源です。2つ目は、周囲の方です。教職課程センターの先生や対応してくれた方、声をかけてくれた方、一緒に対策をしてくれた友人、実習先の先生、周囲の方が全員、あなたが教員になることを応援してくれています。その応援に答えることも、採用試験を乗り越える源です。」

◆5月の教職課程センターの相談指導の予定◆

5月	9:00~12:20	14:00~16:00		9:00~12:20	14:00~16:00
6 (金)	教職教養対策講座	個別相談	19 (木)	論作文対策講座	個別相談
10 (火)	模擬授業対策講座	個別相談	20 (金)	教職教養対策講座	個別相談
11 (水)	模擬授業対策講座	個別相談	24 (火)	個別相談	個別相談
12 (木)	模擬授業対策講座	個別相談	25 (水)	個別相談	個別相談
13 (金)	模擬授業対策講座	個別相談	26 (木)	個別相談	個別相談
17 (火)	集団討論対策講座	個別相談	27 (金)	個別相談	個別相談
18 (水)	個別相談	個別相談	31 (火)	個別相談	個別相談

★ 対策講座は対面を予定していますが、感染症の状況によりZoomに変更される可能性があります

◇講座は 9:00~10:30。参加者は遅刻をしないようにしてください、また使用教室を必ずチェックしてください

◎相談指導・各種イベントのお申込みは◎

教職課程センター (月~金 9:30~17:30) に来室又はメール (kko@ml.hosei.ac.jp) にて